

『食健康科学』創刊にあたって

長野県立大学健康発達学部食健康学科は、創立後はや4年がたち、この度、『食健康科学』(Food and Health Sciences) 創刊号を上梓することができました。

2021年12月に開催された「東京栄養サミット」で採択された「東京栄養宣言」では、「栄養は個人の健康と福祉の基礎であり、持続可能な開発と経済成長の基盤である」と謳われています。さらに、17の持続可能な開発目標SDGsの取組みも、全ての目標が栄養と関係があり、SDGsの観点も、第4次食育推進基本計画（令和3年度から7年度）にも明記されているところです。今や栄養・食に関連するテーマは、世界のトレンドになっています。

そして、人間のからだを心と心を良好にし、地球に優しい食事を意味する Planetary Health Diet は、環境負荷が少ない日本の食に最も近いと言われています。

本紀要が、改めて、日本の栄養・食の素晴らしさを認識する一助となれば幸いです。SDGsがめざす「世代を超えて、全ての人が、自分らしく、良く生きられる世界」の構築に、日本の栄養・食が貢献することを祈念するとともに、自然豊かな信州の地から、栄養・食の営みに関する素晴らしいエビデンスが蓄積されることを願ってやみません。

長野県立大学健康発達学部学部長

笠原 賀子